

2021年度 佐久長聖中学校 学校関係者評価

評価・・・A:十分 B:概ね十分 C:やや不十分 D:不十分

	評価項目	評価の観点	評価	今後の課題・問題点
1	学習指導	大学入試改革に対応した具体的な取り組みができたか。	A	生徒が自主的に学習できるeトレーニングは大変ありがたい。また、英語検定や漢字検定取得の取り組みは、子どもたちにとって目標が明確になり、学習の成果も見えやすくとてもよい。
		アクティブラーニング(AL)・ICT機器活用等の授業改善をしたか。	B	教職員も積極的にICT技術を取り入れ、生徒も使いこなせているようでとてもよい。新しい技術はどんどん取り入れてほしい。ただし、リモート授業は一方的になりがちであることにも注意してほしい。
		中高一貫教育の特性を生かした指導や教育課程の見直しを行ったか。	B	中学と高校の間に距離があるように感じる。交流がもう少しあればと思う。2年続けてカナダ語学研修ができなかったのは残念。国内でも英語漬けにできる体験を提供しているところもあるように聞いているので検討してみてもどうか。
2	進路指導	計画的・戦略的に組織的な進路指導ができたか。	B	英語力が抜きん出た生徒には海外大学進学への道筋をもっと示せるとよい。自分で考え自分で学ぶことはとても大事。そういう意味で、自分発見やボランティア的活動などの生徒の自発的な取り組みはとてもよい。
		保護者と連携した個に応じた進路指導ができたか。	B	保護者懇談会や授業参観の機会を持てたのはよかったが、コロナ禍で保護者同士が顔を合わせられる機会がなかったため、来年度は工夫をして学級懇談会などを開催してほしい。
		生徒の自己啓発につながるキャリア教育であったか。	A	世界で活躍する一流の人の講演会を行うなど、よい機会をもらえている。また、体験学習で「やったことがある」というのは強みになる。今後も生きる力を育んでほしい。地元の経営者として生徒と関われる機会、コロナ禍でもできることを提案したい。
3	生徒指導	いじめや暴力のない安全な学校生活を送るための啓発活動ができたか。	B	日頃の啓発活動や生徒間の情報をアンテナ高くキャッチできているようで安心である。長い6年間で関わる人数が限られてしまっているように思う。クラス替えをもう少し多くしても良いのではないかと。
		体罰や暴言のない安心な学校づくりができたか。	A	現状に問題はないが、教職員が常に高い意識を持ち、安心な学校づくりに取り組んでほしい。
		校内外での安全・トラブル(SNS含む)に注意できているか。	B	学校のコロナ対策は大変評判が良く、安心して通学させることができている。自転車に乗った本校生徒と事故になりそうなことが2回あった。交通安全の指導も徹底してほしい。
4	保護者連携 地域連携	ホームページ・Classiなどで積極的に学校情報の発信ができたか。	B	県内の学校関係者でも佐久長聖のすばらしさを知らない人もおり、情報発信の余地はまだある。クラスごとの情報はもっと発信してほしい。また個人的な情報ももらえるとありがたい。
		保護者や外部からの声に対してきちんと対応・返答できたか。	B	これからも保護者や外部からの意見や要望に対して、迅速で誠実な対応を心がけてほしい。中学2年生が地域の人々と繋がろうとする取り組みは大変良かった。今後も継続してほしい。
		説明会・オープンスクール(OS)・学校訪問など積極的な広報活動ができたか。	B	自分自身の経験から、寮での生活が今の自分を作っている、とすることができる。もっと寮の魅力をアピールしてもよいのではないかと。コロナ禍での募集活動のあり方をさらに検討してほしい。